



実践クラブ
まわたり みつはる
馬渡 光春 議員

マイナンバーカード

Q 4年経過しても全国的に交付率が伸びていないが？

①島原市の現状と課題は？
市職員の取得状況は？

②カード普及への市の取り組みは？

③今後の推進と課題は？

④カードを利用した各種証明証発行のサービスの推進は？

A ①8月末で5412枚、人口比11・9％。市職員は260件で74・3％が取得。

②市広報等で案内、本庁と有明庁舎でタブレット端末での申請を開始。

③税の申告や産業まつり会場等、様々な会場での申請受付。カードのメリットを周知徹底したい。

④証明書のコンビニ交付の導入は、しばらく見送り、今後も推移を見て検討したい。

学校教育についての課題

Q 児童生徒の安全対策について

①スマートフォン所持状況と指導は？（フィルタリング対策）

②小・中学校の受動喫煙対策は？

③いじめ、不登校の現状と対策は？（対策協議会の開催は）

④児童虐待の捉え方と対応は？

（学校は子供の些細な変化を気付く場所）

⑤運動部活動のガイドライン通達後の対応は？

⑥文化活動のガイドラインも策定されるが市の対応は？

A ①小学生30％、中学生59％が所持。校内持ち込みは原則禁止。フィルタリング利用は約30％。課題が多く専門的な指導を実施。

②敷地内禁煙で保護者等に周知。校内での地域行事でも徹底したい。

③昨年度は小学校112件、中学校19件の計131件、いじめ問題対策連絡協議会を年1回開催し市も対応。不登校は小学校4人、中学校19人。

④国からの虐待対応の手引きに基づき、各学校でガイドラインを管理職を中心に対応。

⑤運動部活動の方針を策定し、外部指導者等に説明後、校長からPTA総会において保護者にも説明した。

⑥国・県の「ガイドライン」を参考に市の方針を策定し、各学校で取組んで行きたい。



公明党
ながお くにただ
永尾 邦忠 議員

県立島原病院、輸血用血液製剤供給体制のその後

Q 6月議会で血液配送等の問題を取り上げたが、その後の経過は？

A 県赤十字血液センターは安定的な供給体制維持のため、平日の血液輸送車両の院内への待機時間を11～15時から11時～17時へ2時間延長され、年間の夜間配送便を新設される。

Q 輸血用血液製剤の在庫数に変化はあるのか？

A これまでの27パックから12パックへ、4割程度に縮小。

Q 近隣の医療機関で万一緊急避難的に血液製剤が必要な時に融通を受けられない可能性を否定できないとあるが、不安を払拭する責任を果たす努力を。

A 国・県・日赤に申し入れを直ちに行うべき課題と認識。現場の声を早い時期に集約する。

見守りシステム

Q 小学校の登下校時の見守りシステム、年間の必要経費と効果は？

A 必要経費は平成30年度決算でシステムの保守委託料等に約300万円。登下校時の安否確認など安全・安心の確保に一定の効果を認識している。

Q 見守りシステムは、維持しながら、検討しながら子供の安全を守ってほしいが、システムの更新に幾ら必要か？

A 導入経費は約7980万円で全額国費負担。新たに更新の場合は導入経費程度の多額の経費がかかり、市の負担。今後は民間サービス等も参考に、児童の安全・安心の確保を検討したい。

Q 高齢者、障がい者の見守りとして、QRコード付きシール「どこシル」の活用について。

A 本市はQRコードを活用したSOSおかけりネットワークを実施。利便性や効率性等を検討し、より安全・安心な見守り体制の構築に努めたい。

【その他の質問項目】

◇消防団の準中型免許取得への補助制度について

◇交通安全対策について

◇幼稚園保育園の教育費無償化について